

令和6年度 施策評価シート(令和4年度・令和5年度評価)

評価日: 令和6年9月30日

No.2-1

まちづくりの目標		第2章 支え合う健やかなまちづくり(健康・福祉部門)	評価責任者	こども福祉部長
基本事項	施策名	第1節 共に支え合う地域福祉の推進	所管部署名	こども福祉部地域福祉課
	施策の展開	1 支援体制の構築	関連部署名	
		2 地域福祉活動の支援		
		3 福祉意識の醸成		
	関連する個別計画・方針等	きらっと吉川21「健康福祉とスポーツのまちづくり」宣言		施策の目的
吉川市地域福祉計画				
吉川市自殺対策計画				

指標名	単位	設定時の値(年度)	実績値①(年度)	実績値②(年度)	達成度	最終目標値(年度)
ゲートキーパー養成研修新規受講者数	人	19	27	56	93.3% ★★★	150
		R2	R4	R4~R5	概ね達成された	R4~R8
社会福祉協議会のボランティアセンター登録者数	人	553	516	872	678.7% ★★★★★	600
		R2	R4	R5	達成された	R8
助け合い、支え合う地域であると感じる市民の割合(市民意識調査)	%	-	58.3	57.5	-	50.0
		-	R4	R5		R8

評価方法	評価の理由・説明	評価点
評価軸① 施策の達成状況 施策成果指標の達成度の平均 ⇒ 386.0%	・達成度100%以上=4点 ・達成度80~99%=3点 ・達成度50~79%=2点 ・達成度49%以下=1点	4点
評価軸② 施策の進捗状況 <input type="checkbox"/> 順調(100%以上の達成度) <input checked="" type="checkbox"/> おおむね順調(80%以上の達成度) <input type="checkbox"/> やや順調でない(50~80%程度の達成度) <input type="checkbox"/> 順調でない(50%未満の達成度)	社協ボランティアセンター登録者数と市民意識調査については目標値を達成できている。一方、ゲートキーパー養成研修新規受講者数については、R4~R8の5年間で目標値となっており、各年度での目標値を達成できていない。	3点
評価軸③ 市民ニーズの反映度 <input type="checkbox"/> 反映できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった	ゲートキーパー養成講座においては、研修実施後にアンケートを実施し改善を行いながら毎年度事業展開している。	3点
評価軸④ 施策に対する事務事業の構成 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった	事務事業の構成としては、施策の目的を達成するのに十分な内容であり、引き続き事業を継続する。 ※構成する事務事業については裏面に記載	4点
施策に関する現状と課題 ・自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応を図ることができるよう人材を育成するため、平成24年度から継続してゲートキーパー養成研修を実施している。自殺対策では、このような人材を増やしていくことが重要であり、引き続き研修を実施していく必要がある。 ・市民意識調査における「助け合い、支えあう地域であると感じる割合」が50%を超える実績値であるのは、ボランティアセンター登録者数の増加からもわかる通り、地域のために何かをしたいという市民意識が育まれている結果である。		総合評価 評価軸①~④の評価点の平均点 4点 (4点満点中)

今後の展開	自殺を他人事ではなく、自分事と捉えるような意識づけを図ることで自殺対策の強化にも繋がることから、研修参加への周知を対象者に図っていく。また、全国的に若年者の自殺数が増加していることから、教育関係者や相談支援員等がSOSを受け取る力をつけていくことが大切であるため、そのようなスキルを高める研修を毎年度実施していく。
-------	---

令和6年度 施策評価シート(令和4年度・令和5年度評価)

評価日: 令和6年9月30日

No.2-2

まちづくりの目標		第2章 支え合う健やかなまちづくり(健康・福祉部門)	評価責任者	健康長寿部長	
基 本 事 項	施策名	第2節 いきいき暮らせる高齢者福祉の推進	所管部署名	健康長寿部長寿支援課	
	施策の展開	1	高齢者の社会参加の促進	関連部署名	
		2	地域の支え合いの向上		
		3	高齢者の日常生活の支援		
		4	介護予防の充実		
		5	介護保険事業の充実		
関連する個別計画・方針等	吉川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画		施策の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・生きがいを持って、高齢者が元気で活躍することをめざします。 ・地域のつながりの中で、高齢者が安心して住み慣れた地域で自立した生活ができることをめざします。 	

指標名	単位	設定時の値(年度)	実績値①(年度)	実績値②(年度)	達成度	最終目標値(年度)
75歳から79歳の要介護認定率	%	12.5	10.9	10.7	-	12.5未満
		R2	R4	R5	★★★★★ 達成された	R8
高齢者福祉の取組に対する市民満足度(市民意識調査)	%	58.6	57.1	57.5	-78.6%	60.0
		R3	R4	R5	★ 達成度が低い	R8

評価方法	評価の理由・説明	評価点
評価軸① 施策の達成状況 施策成果指標の達成度の平均 ⇒ -78.6%	・達成度100%以上=4点 ・達成度80~99%=3点 ・達成度50~79%=2点 ・達成度49%以下=1点	1点
評価軸② 施策の進捗状況 <input checked="" type="checkbox"/> 順調(100%以上の達成度) <input type="checkbox"/> おおむね順調(80%以上の達成度) <input type="checkbox"/> やや順調でない(50~80%程度の達成度) <input type="checkbox"/> 順調でない(50%未満の達成度)	第9期吉川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画に基づき、各事業を進めている。健康づくり・体力づくりの習慣化と健康への市民理解の促進のため、いきいき運動教室などの実施やフレイル予防事業に取り組んだ。また、地域型介護予防教室や地域住民主体のサロンを支援し、住民の社会参加に取り組んだ。	4点
評価軸③ 市民ニーズの反映度 <input checked="" type="checkbox"/> 反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった	令和5年度に実施した「吉川市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査及び在宅介護実態調査」において市民ニーズを把握し、第9期吉川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画を策定し、事業を実施している。	4点
評価軸④ 施策に対する事務事業の構成 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった	高齢者の自立を支援し、尊厳を守るため、地域の実情に応じた地域包括ケアシステムの構築を目指し、介護給付等対象サービスの充実、高齢福祉サービスの充実などの取り組みを進めているため妥当である。 ※構成する事務事業については裏面に記載	4点
施策に関する現状と課題 令和22年(2040年)、いわゆる団塊ジュニア世代が65歳以上となり、高齢者人口がピークを迎え、介護ニーズの高い85歳以上の人口も急速に増加し、医療・介護両方のニーズを有する高齢者など、様々な課題を抱えた要介護高齢者が増加する一方で、生産人口が急減することが見込まれている。こうしたなか、地域の実情に応じた地域包括ケアシステムの構築を目指し、地域共生社会の実現に向けて、包括的な支援体制の整備が求められている。地域の課題解決のためには、地域住民と行政の協働が必要だが、支援者となる地域住民も高齢となり、担い手がないことが課題となっている。		総合評価 評価軸①~④の評価点の平均点 <h1>3点</h1> (4点満点中)

今後の展開	第9期吉川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画に基づき、事業を実施するとともに、認知症施策の一環として、認知症の人の声を聞き、施策に反映できるよう本人ミーティングに取り組む。
-------	--

令和6年度 施策評価シート(令和4年度・令和5年度評価)

評価日: 令和6年9月30日

No.2-3

まちづくりの目標		第2章 支え合う健やかなまちづくり(健康・福祉部門)	評価責任者	こども福祉部長
基本事項	施策名	第3節 互いに尊重し合う障がい福祉の推進	所管部署名	こども福祉部障がい福祉課
			健康長寿部健康増進課	
	施策の展開	1 障がい者の社会参加の促進	関連部署名	
		2 地域の支え合いの向上		
		3 障がい者の地域生活の支援		
		4 適切な保健・医療と療育の提供		
関連する個別計画・方針等	吉川市障がい者計画	施策の目的	・障がいのある方もない方も、互いに尊重しながら、障がい者が地域の中で安心して暮らせる社会をめざします。	
	吉川市障がい福祉計画			
	吉川市障がい児福祉計画			

指標名	単位	設定時の値(年度)	実績値①(年度)	実績値②(年度)	達成度	最終目標値(年度)
市内グループホームの定員	人	42	85	105	350.0% ★★★★★	60
		R2	R4	R5	達成された	R8
あいサポーター育成人数	人	229	474	635	14.7% ★	3,000
		R2	R4	R5	達成度が低い	R8
就労移行率(就労支援センターの利用者のうち、就労できた方の割合)	%	69.4	73.0	74.6	49.1% ★	80.0
		R2	R4	R5	達成度が低い	R8

施策の評価	評価方法		評価の理由・説明		評価点
	評価軸① 施策の達成状況	施策成果指標の達成度の平均 ⇒ 137.9%	・達成度100%以上=4点 ・達成度80~99%=3点 ・達成度50~79%=2点 ・達成度49%以下=1点		4点
評価軸② 施策の進捗状況	<input type="checkbox"/> 順調(100%以上の達成度) <input checked="" type="checkbox"/> おおむね順調(80%以上の達成度) <input type="checkbox"/> やや順調でない(50~80%程度の達成度) <input type="checkbox"/> 順調でない(50%未満の達成度)	近年、株式会社などにより、グループホームをはじめとする障害福祉施設の整備が進んでいる。また、障害者差別解消法や障害者雇用促進法などが改正され、事業者の合理的配慮の義務化や法定雇用率の改正などに伴い、当市の障害者福祉施策全般に関してはおおむね順調に推移している。障がい者理解の促進については、積極的な働きかけが重要である。	令和5年度に「第5次吉川市障がい者計画」を策定するにあたり、障がい者・児へのアンケート調査のほか、関係団体への聞き取り調査を実施し、障がい者理解に対する施策と、福祉施設設置の必要性を再確認することができた。また、あいサポーター育成人数については、目標人数の達成は厳しい状況であるが、参加者された方の評価は良好である。	3点	
評価軸③ 市民ニーズの反映度	<input type="checkbox"/> 反映できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった	令和5年度に「第5次吉川市障がい者計画」を策定するにあたり、障がい者・児へのアンケート調査のほか、関係団体への聞き取り調査を実施し、障がい者理解に対する施策と、福祉施設設置の必要性を再確認することができた。また、あいサポーター育成人数については、目標人数の達成は厳しい状況であるが、参加者された方の評価は良好である。		3点	
評価軸④ 施策に対する事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった	障がいのある方もない方も、互いに尊重しながら、障がい者が地域の中で安心して暮らせる社会をつくり上げるための事務事業で構成されており妥当である。	※構成する事務事業については裏面に記載	4点	
評価	施策に関する現状と課題			総合評価	
	・全国と同様に当市においても障害者手帳所持者数は増加しており、特に療育手帳所持者数は5年前の約1.3倍(610人)、精神保健福祉手帳所持者にあつては5年前の約1.5倍(796人)となっている。また、自立支援医療制度による精神通院医療対象者は5年前の約1.4倍(1,468人)に増加している。 ・障がい者・児の増加に伴い、相談や療育、訓練、介護、などの通所施設とともに、親の高齢化により単身となった場合のグループホームのニーズが高まっており、市内でもこれらの施設は増加してきている。 ・一方で、施設で働くスタッフが不足しており、全国的な課題となっている。			評価軸①~④の評価点の平均点 4点 (4点満点中)	

今後の展開	・障がい者の社会参加の促進や地域の支え合い、地域生活を支援するため、スポーツや芸術などによる交流事業をはじめ、就労促進支援金制度を活用した就労の場の確保や、あいサポート運動による障がい者理解の促進、相談支援体制の充実などに取り組んでいく。 ・適切な保健・医療と療育を提供するため、関係機関と連携を図りながら障がい者の健康や機能の維持を図るとともに、こども発達センターの機能強化を進め、子どもの療育とその保護者への相談支援に取り組んでいく。
-------	--

令和6年度 施策評価シート(令和4年度・令和5年度評価)

評価日: 令和6年9月30日

No.2-4

まちづくりの目標		第2章 支え合う健やかなまちづくり(健康・福祉部門)	評価責任者	こども福祉部長	
基 本 事 項	施策名	第4節 市民に寄り添う自立支援と社会保障	所管部署名	こども福祉部地域福祉課	
			健康長寿部国保年金課		
	施策の展開	1	生活保護制度の適正な運用	関連部署名	総務部収納課
		2	生活困窮者自立支援事業の充実		
		3	国民健康保険給付の適正化		
		4	国民健康保険制度・後期高齢者医療制度の健全な運営		
5		国民年金の制度周知			
関連する個別計画・方針等	吉川市国民健康保険財政健全化計画 吉川市国民健康保険保健事業実施計画	施策の目的	<ul style="list-style-type: none"> 生活を保障するとともに、経済的自立や日常生活の自立、社会生活の自立を支援します。 医療保険制度の健全で安定的な運営をめざします。 老後の生活を支える年金制度の理解が深まることをめざします。 		

指標名	単位	設定時の値(年度)	実績値①(年度)	実績値②(年度)	達成度	最終目標値(年度)
生活保護受給者と生活困窮者のうち、就労を契機に生活の自立を達成した方の割合	%	17.7	30.1	20.2	500.0% ★★★★★	18.2
		R1	R4	R5	達成された	R8
国民健康保険税の収納率(現年分)	%	95.2	95.3	94.9	-23.1% ★	96.5
		R2	R4	R5	達成度が低い	R8

評価方法	評価の理由・説明	評価点
評価軸① 施策の達成状況 施策成果指標の達成度の平均 ⇒ 238.5%	・達成度100%以上=4点 ・達成度80~99%=3点 ・達成度50~79%=2点 ・達成度49%以下=1点	4点
評価軸② 施策の進捗状況 <input checked="" type="checkbox"/> 順調(100%以上の達成度) <input type="checkbox"/> おおむね順調(80%以上の達成度) <input type="checkbox"/> やや順調でない(50~80%程度の達成度) <input type="checkbox"/> 順調でない(50%未満の達成度)	・コロナ禍の社会情勢や国の施策により、就労支援対象者が増加した。各種支援制度に併せて就労支援が行われたことにより、実績値は目標値を大きく超えた。 ・収納率は、令和令和4年度は、向上したものの、令和5年度は、前年度を下回った。	4点
評価軸③ 市民ニーズの反映度 <input type="checkbox"/> 反映できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった	・就労支援対象者は、コロナ禍で不安な社会生活を送るなかで、各種支援制度の案内や活用を期待しており、就労支援を通して自立した生活の確保・再開に繋げることができた。 ・医療保険制度の安定的な運営を図るため、適正な滞納整理を行い財源確保を行った。	3点
評価軸④ 施策に対する事務事業の構成 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった	事務事業の構成としては、施策の目的を達成するのに十分な内容であり、引き続き事業を継続する。 ※構成する事務事業については裏面に記載	4点
施策に関する現状と課題 ・就労稼働年齢層で就労が可能と思われる生活保護受給者や生活困窮者に対して、困窮状態からの自立を目指した支援を行った。 令和2年度から蔓延した新型コロナウイルス感染症の対策として国が実施した施策、拡大した支援は、その多くが終了しており社会生活も落ち着きを取り戻した。今後は、平常時の生活困窮、生活保護の状況を注視していく必要がある。 ・国税収納率の向上には、不断の取り組みが必要であり、これからも適時適切な滞納整理が必要である。		総合評価 評価軸①~④の評価点の平均点 4点 (4点満点中)

今後の展開	<ul style="list-style-type: none"> 生活保護受給者、生活困窮者に対しては、自立に向けた支援を引き続き実施していく。特に生活困窮者自立支援法については、国による法改正や通知が頻繁に実施されることから、国の動向に注視しながら支援が円滑に実施するためにも漏れなく情報収集を行っていく。 医療保険制度の安定的な運営のため、県と連携し、財源の確保を図るとともに、健康保険制度の改正について国や県の動向を注視するとともに情報収集に努めていく。
-------	--

令和6年度 施策評価シート(令和4年度・令和5年度評価)

評価日: 令和6年9月30日

No.2-5

まちづくりの目標		第2章 支え合う健やかなまちづくり(健康・福祉部門)	評価責任者	健康長寿部長
基本事項	施策名	第5節 地域医療体制の充実	所管部署名	健康長寿部健康増進課
	施策の展開	1 医療情報の発信	関連部署名	健康長寿部長寿支援課
		2 救急医療体制の充実		
		3 在宅医療の推進		
	関連する個別計画・方針等		施策の目的	・誰もが適切な医療を受けられる環境の整備をめざします。

指標名	単位	設定時の値(年度)	実績値①(年度)	実績値②(年度)	達成度	最終目標値(年度)
かかりつけ医を持っている市民の割合(市民意識調査)	%	57.7	55.6	60.3	35.6% ★	65.0
		R3	R4	R5	達成度が低い	R8

施策の評価	評価方法		評価の理由・説明	評価点
	評価軸① 施策の達成状況	施策成果指標の達成度の平均 ⇒ 35.6%	・達成度100%以上=4点 ・達成度80~99%=3点 ・達成度50~79%=2点 ・達成度49%以下=1点	1点
評価軸② 施策の進捗状況	<input type="checkbox"/> 順調(100%以上の達成度) <input checked="" type="checkbox"/> おおむね順調(80%以上の達成度) <input type="checkbox"/> やや順調でない(50~80%程度の達成度) <input type="checkbox"/> 順調でない(50%未満の達成度)	日常的に「かかりつけ医」を持つことの重要性について理解が進んでいる。	3点	
評価軸③ 市民ニーズの反映度	<input type="checkbox"/> 反映できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった	健康について広く相談できる「かかりつけ医」は市民の健康管理に重要であるが、「かかりつけ医」を持たない理由として、症状に応じて医療機関を選択するからなどが多い。	3点	
評価軸④ 施策に対する事務事業の構成	<input type="checkbox"/> 妥当であった <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった	医療機関が診療時間外に医療を提供することや、救急医療体制を整備することは、地域医療体制の充実に資する。 ※構成する事務事業については裏面に記載	3点	
施策に関する現状と課題			総合評価	
新型コロナウイルス感染症やワクチン接種における様々な機会において「かかりつけ医」への相談を案内する機会が増加した。埼玉県東部南地区第二次救急医療体制の整備を図っているが、小児救急医療を担う医療機関の不足が懸念される。			評価軸①~④の評価点の平均点 3点 (4点満点中)	

今後の展開	引き続き「かかりつけ医」の重要性について周知を図るとともに、近隣市町や医療機関等と連携し継続して救急医療体制の整備に取り組んでいく。
-------	--

令和6年度 施策評価シート(令和4年度・令和5年度評価)

評価日: 令和6年9月30日

No.2-6

まちづくりの目標		第2章 支え合う健やかなまちづくり(健康・福祉部門)	評価責任者	健康長寿部長	
基本事項	施策名	第6節 生涯を通じた健康づくりの推進	所管部署名	健康長寿部健康増進課	
	施策の展開	1	生活習慣病予防の推進	関連部署名	
		2	感染症予防の推進		
		3	食育の推進		
		4	歯科口腔保健の推進		
	関連する個別計画・方針等	きらっと吉川21「健康福祉とスポーツのまちづくり」宣言		施策の目的	・誰もが生涯にわたり心身ともに健康でいきいきと生活できることをめざします。
吉川市健康増進計画					
吉川市食育推進計画					
吉川市歯科口腔保健推進計画					
吉川市新型コロナウイルス等対策行動計画					

指標名	単位	設定時の値(年度)	実績値①(年度)	実績値②(年度)	達成度	最終目標値(年度)
特定保健指導実施率	%	60.4	41.5	44.1	-776.2% ★	62.5
		R1	R3	R4	達成度が低い	R8
吉川市が実施する肺がん検診受診率	%	4.4	5.1	5.1	43.8% ★	6.0
		R2	R4	R5	達成度が低い	R8

評価方法	評価の理由・説明	評価点
評価軸① 施策の達成状況 施策成果指標の達成度の平均 ⇒ -366.2%	・達成度100%以上=4点 ・達成度80~99%=3点 ・達成度50~79%=2点 ・達成度49%以下=1点	1点
評価軸② 施策の進捗状況 <input type="checkbox"/> 順調(100%以上の達成度) <input checked="" type="checkbox"/> おおむね順調(80%以上の達成度) <input type="checkbox"/> やや順調でない(50~80%程度の達成度) <input type="checkbox"/> 順調でない(50%未満の達成度)	新型コロナウイルス感染拡大のため、集団での結果説明会を開催しないなどの影響を受け、特定保健指導実施率が減少した。施策を構成する他事業においても同様な影響を受けたものがあつた。	3点
評価軸③ 市民ニーズの反映度 <input checked="" type="checkbox"/> 反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった	誰もが願う健康な日常を実現するための手段として健康診査と保健指導は市民ニーズを反映している。	4点
評価軸④ 施策に対する事務事業の構成 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった	健康な日常生活実現に資するための、多角的な事業構成となっている。 ※構成する事務事業については裏面に記載	4点
施策に関する現状と課題 新型コロナウイルス感染防止のため、実施体制を縮小させていた影響などがあり実績値が減少傾向にあった指標がある。		総合評価 評価軸①~④の評価点の平均点 3点 (4点満点中)

今後の展開	コロナ禍前の実施体制に戻すことで、実績値を増加に転換させていくとともに、引き続き、乳幼児から高齢者までの、様々な世代に向けた健康増進事業に取り組んでいく。
-------	---

令和6年度 施策評価シート(令和4年度・令和5年度評価)

評価日: 令和6年9月30日

No.2-7

まちづくりの目標		第2章 支え合う健やかなまちづくり(健康・福祉部門)	評価責任者	健康長寿部長	
基本事項	施策名	第7節 スポーツでつながるまちづくり	所管部署名	健康長寿部スポーツ推進課	
	施策の展開	1	健康・体力づくりの推進	関連部署名	
		2	スポーツ・レクリエーション活動の支援		
		3	スポーツ環境の整備		
		4	多様な分野でのスポーツの活用		
	関連する個別計画・方針等	きらっと吉川21「健康福祉とスポーツのまちづくり」宣言		施策の目的	・誰もが心身の健全な発達と健康の保持増進ができるよう、気軽にスポーツに親しむことができる環境づくりをめざします。 ・スポーツの活用により、多様な分野での地域課題の解決をめざします。
吉川市スポーツ推進ビジョン					
吉川市スポーツ推進計画					

施策成果指標	指標名	単位	設定時の値(年度)	実績値①(年度)	実績値②(年度)	達成度	最終目標値(年度)
	18歳以上で週1回以上の頻度で運動やスポーツを行っている市民の割合(市民意識調査)	%	50.9	45.2	50.7	-2.2%	60.0
			R3	R4	R5	★ 達成度が低い	R8

施策の評価	評価方法		評価の理由・説明	評価点
	評価軸① 施策の達成状況	施策成果指標の達成度の平均 ⇒ -2.2%	・達成度100%以上=4点 ・達成度80~99%=3点 ・達成度50~79%=2点 ・達成度49%以下=1点	1点
評価軸② 施策の進捗状況	<input type="checkbox"/> 順調(100%以上の達成度) <input type="checkbox"/> おおむね順調(80%以上の達成度) <input type="checkbox"/> やや順調でない(50~80%程度の達成度) <input checked="" type="checkbox"/> 順調でない(50%未満の達成度)	施策の進捗状況について、達成度は-2.2%となっているが、H28年度の割合が49.3%であることを考慮すると、コロナ禍による利用者の活動控えは解消し、上昇傾向であると捉えている。	1点	
評価軸③ 市民ニーズの反映度	<input type="checkbox"/> 反映できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった	市民ニーズは令和3年1月に「スポーツに関する市民アンケート」を実施し「吉川市スポーツ推進計画」を策定する際に反映するとともに、市スポーツ推進委員や市民の声での意見、利用者の声を丁寧に聞き取り、適時、事業内容等の見直しを行っている。	3点	
評価軸④ 施策に対する事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかといえば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった	気軽にできる運動への参加機会提供から各種スポーツ団体の支援まで、幅広い事業で構成されており妥当である。 ※構成する事務事業については裏面に記載	4点	
総合評価	施策に関する現状と課題			総合評価
	・ライフステージに応じて、心身共に明るく健康で生きがいのある生活を送ることができるよう、引き続きスポーツに親しめる機会づくりや運動の習慣化のきっかけづくりに取り組む必要がある。 ・引き続き、分散型スポーツ施設の整備を進めるとともに、既存スポーツ施設の適正管理や旭公園球場の長寿命化改修など、計画的に進めていく必要がある。			評価軸①~④の評価点の平均点 2点 (4点満点中)

今後の展開

- ・市民の健康寿命の延伸のため、運動習慣に関する知識の周知・啓発を行っていくとともに、スポーツと健康づくりへの取り組みを一体的に推進していく。
- ・スポーツ推進委員や関係団体等と連携し、多くの市民がスポーツに取り組むことのできる機会の確保に努めるとともに、分散型スポーツ施設の整備や既存のスポーツ施設の適正管理、スポーツ団体の継続的な支援など、スポーツ推進計画に基づいた施策を展開していく。

